

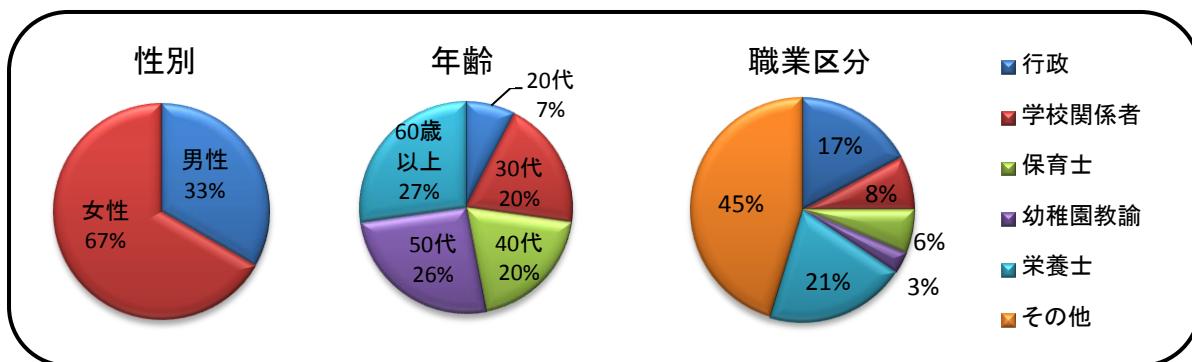
中国・四国地域「食育シンポジウム」アンケート結果

日時:平成25年3月6日

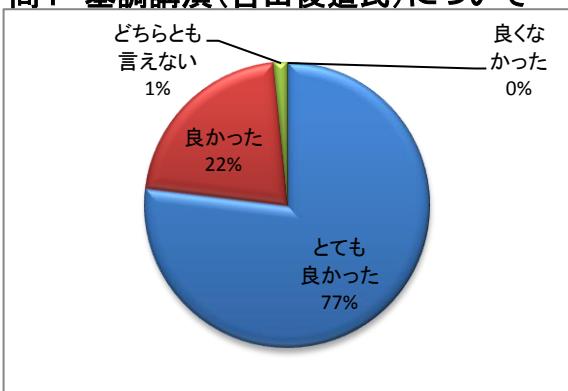
場所:岡山国際交流センター 「国際会議場」

回答数:66名(参加者92名:回収率72%)

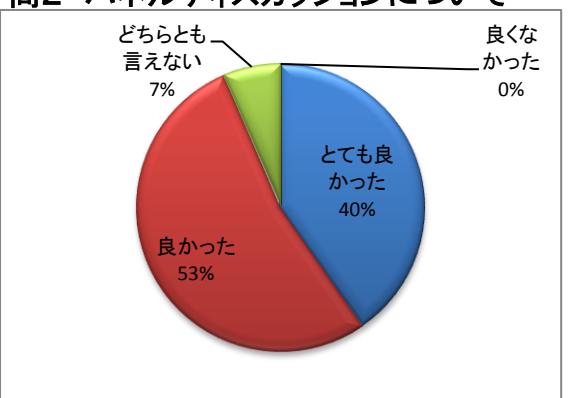
□属性区分



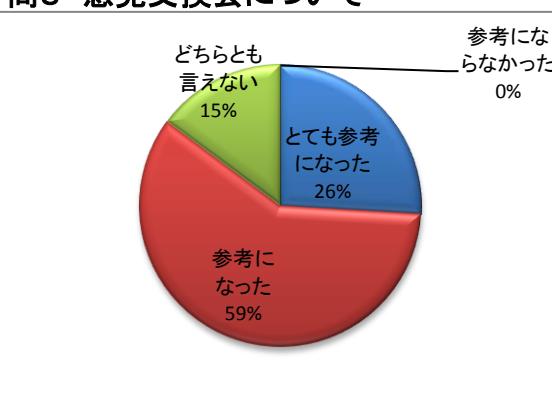
問1 基調講演(吉田俊道氏)について



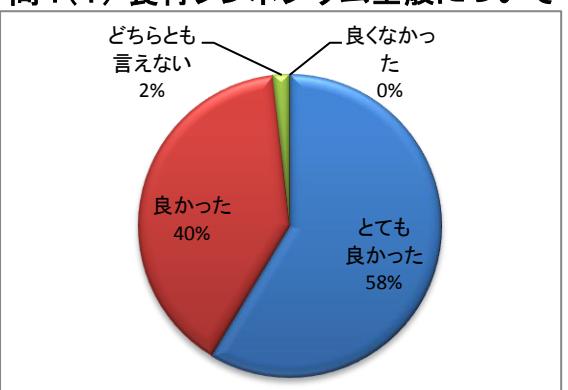
問2 パネルディスカッションについて



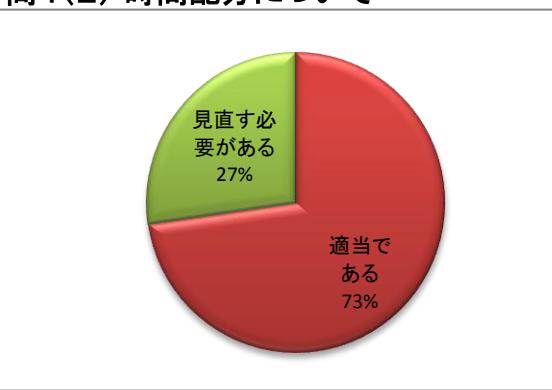
問3 意見交換会について



問4(1) 食育シンポジウム全般について



問4(2) 時間配分について



□食育シンポジウムに関する意見

- ・食の大切さが非常に分かったと思う。近年の食生活は不安要素がたくさんあると思うので、このような活動は続けて行くことが大切だと思う。
- ・普段の生活にも、仕事にも取り入れていきたい話をたくさん聞けたことが本当に良かった。
- ・全体的にテーマが統一したお話で分かりやすかった。実際にやってみたいと思える内容や参加してみたい内容など、興味を持って聞けたなと思う。
- ・一応は知っているつもりでいたが、今日話を聞かせていただいて改めて確認したこと、また、とてもびっくりするようなことも分かり、とても参考になる。
- ・これからは、普段の生活の中でももっと意識的にとらえ、考え、実践(行動)してみたいと思う。

□基調講演に関する意見

- ・父は私たちにいいものを食べさせてくれたと思い、これからの中の子どもたちにもつなげていきたいと思う。
- ・子どもたちの素直な反応が、より一層食育に関して伝えていきたいと思った。
- ・子どもたち、地域の人と一緒に園での栽培活動を豊かなものにしていきたいと思った。
- ・食に関する仕事をしているので、食べることの基本の部分に触れることができ、大変勉強になった。
- ・野菜作り(栽培)をしなくても食育は「できる!」と思っていたが、土作りから野菜を育て、食までの過程で子どもたちの中に育つものは大きいと思い、自分の考えを改めたいと思う。

□パネルディスカッションに関する意見

- ・今の子どもたちに食の大切さを教えることにより、大人になった時にまた子どもに伝えることができると思った。
- ・行政、大学、NPOとそれぞれの取組を聞き、思いは皆同じで、これからも楽しくなりそうなイメージがある。
- ・本物を知るということ、農や漁業を実際に体験させているところが、言葉ではなく感性で感じることができるとと思うので、すばらしいと思った。

□意見交換会に関する意見

- ・連携づくりはとても知りたいところだった。
- ・行政の力は大きいので、こういった取組を増やして欲しい。
- ・行政の連携はスピードがある。

□食育の推進に関する意見

- ・食育を行っている者同志の交流の場など。
- ・「本物」とは何かを真剣に伝えていかなければいけないと思う。マスコミに踊らされるのではなく、本当に「本物」を伝えていく方法はないものかと考える。このようなシンポジウムの開催回数を増やすことも必要と考える。
- ・食育の速度を上げるのであれば、学校・教育現場だけでなく、企業、社会人…国民の全員参加型、農業体験研修時間を人生の中へ必須にすることも一つかと考える。
- ・シンポジウムからの参加型実習or体験ができるようなものができると、もっと実感し、深められると思う。
- ・各パネリストの方のその後が分かる、見えるような何かがあるとおもしろい。